

メトロリンガルの強み：言語・言語教育イデオロギーの転回と日本語教育への示唆

日時

2020年12月15日(火)
16:40～18:10 *参加無料

講演会

Zoomにて開催

講演要旨

言語を並列的／加算的（例えば、英語＋日本語＋スペイン語）に捉えがちな近代主義的な言語イデオロギー（言語—国家—民族の強い繋がり）に基づいたバイリンガリズム、マルチリンガリズムと一線を画し、ポスト・マルチリンガリズムの見地に立つメトロリンガリズムは「ことば」を様々なセミオティック資源（言語に限らずモノ、イメージや匂いなどの五感に纏わる要素なども含む意味を生成し得る資源）の総体であるレパートリーと捉え、そのようなレパートリーによって生成される街、人と言語の関係を探るアプローチである。

当発表では、言語・言語教育イデオロギーの転回を推奨し、近代主義的なマルチリンガリズムに依拠しがちな「多文化共生」を目指す日本語教育ではなく、街の動態性や、人々や街における言語＝セミオティック資源の豊富さに目を向けた教育を提唱する。その国での優勢言語ではなく、豊富なセミオティック資源が人々をつなぎ、人や街を融合するという観点にたち、ことばの教育の目的は、個人もしくは自分の周りにある他者や環境にあるレパートリーをより豊富なものにしたり、駆使したりする「メトロリンガルの強み」を引き出すことにあるとの議論を展開する。

講師



尾辻恵美

シドニー工科大学、准教授。主な研究分野は、社会言語学と応用言語学。メトロリンガリズム（多言語社会における街の草の根の日常言語活動）の提唱者である。研究分野ではマルチリンガリズム、言語景観、言語とアイデンティティ、市民性とことばの教育、批判的談話分析などが挙げられる。

申込・問合せ

件名を

「公開講演会」にし、
本文に

- ①氏名（ふりがな）
- ②所属・学年
- ③電話番号
- ④E-mail

を明記して、

global-
kyoumu@cc.ocha.ac.jp

までメールをご送信ください。